

地域 環境 社会貢献レポート 2025

Region Environment Contribution to society Reports

Corporate Social Responsibility

pal*system

パルシシステム山梨 長野







かかわる つながる ささえあう

**私たちは協同組合として、人・暮らし・社会を見つめ、
笑顔あふれる地域を創ります**



協同組合として、多様性を認め合い、人とのかかわりを大切にし、持続可能な暮らしのために、「食と農」「環境」の大切さを伝え、事業・運動に福祉の視点をもって、組合員や地域の暮らしを支えています。



日本の農林水産業を守るとともに、貧困や格差のない公平・公正で平和な社会づくりに貢献し、人と自然が共生できる循環型社会づくりをすすめます。また行政や地域の諸団体と連携し、安心してらせる地域づくりに取り組み、豊かな自然に恵まれた山梨県・長野県の風土と文化を大切に、その魅力を次世代に繋いでいきます。



一人ひとりの「サステナブル」な行動でSDGsの実現



地球の未来のこと、私たちの明日のこと。サステナブルについて考えるとき、まずは、近くのことから始めてみませんか。

無理をしてとか、大きなことではなく、毎日のくらしの中で、できることを、ちょっとしたことから積み重ねてみませんか。



SDGs推進企業

やまなしSDGs推進企業(山梨県)、長野県SDGs推進企業(長野県)、SDGs推進パートナー(甲府市)へ登録しています。今、一人ひとりが意識し、行動を起こすことが大切です。17の目標はお互いにそれぞれつながっています。



もっといい明日へ超えてく

ふだんのくらしの行動で世界のさまざまな課題さえも超えていこうと挑戦します。誰もが自分らしくいられてお互いや生きもの、そして地球にもやさしい世界。一人ひとりの行動が、そんな明日への扉を開きます。



Fair Trade(フェアトレード)

私たちの周りには、アジアやアフリカ、中南米等の国で作られたものが多数あります。立場の弱い人々が正当な報酬を受け、自立することを目指すフェアトレードを積極的に推進します。

01-2 地域支援



フードドライブ

家庭で余っている食べ物を持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動として、組合員を対象に年2回の「フードドライブキャンペーン」を実施し、2024年度は1.38トンの食品が寄せられました。



地域への支援

貧困や格差社会が広がる現代、行政や地域団体と連携を図り、子育て世代や高齢者、生活困窮者への多様な支援が必要だと感じています。2024年度は、予備青果を子ども食堂へ提供、甲斐市社会福祉協議会の「夏休み子ども食料支援」等へ食料品を贈呈しました。



「市民活動助成金」制度

山梨県・長野県それぞれの地域の活動が活発に行われることで、元気に明るく、楽しい暮らしを願う地域貢献の取り組みとして、2002年度より延べ240を超える団体へ3,900万円超の助成を行ないました。地域で活動する皆さまを応援していきます。

01-3 産直と環境



パルシステムの産直

信頼できる作り手と直接つながることを願い始めました。私たちの産直は、単なる食料調達的手段には留まりません。日々のくらしの中で、「つくる」と「食べる」がともに支え合う。そのパートナーシップを育むための運動こそ、パルシステムの「産直」です。



地産地消

私たちの住んでいる地域で作った農畜産物や伝統食を食べる。健康・その土地に伝わる食文化を守る。作り手がわかる農家から購入することで生まれる安心感。生育に最も適した季節にじっくり育つのが美味しさの理由だからこそ私たちは地産地消を大切にします。



3Rの推進

日本のゴミ総排出量(2023年度)は約3,897t。東京ドーム約105杯分もの※ゴミを廃棄しています。※一般廃棄物
「限りある地球の資源を無駄にしたいくない」という思いから、リデュース、リユース、リサイクルの3R活動に取り組んでいます。

安心して住み続けられる地域づくりをめざして



行政や地域団体とのつながりを大切に。

事業や活動を通して、地域の生活サポートや応援、子育て支援や環境保全、復興支援など、様々な分野で、私たちならではの取り組みをすすめ、地域社会に貢献しています。

02-1 地域貢献



地域と協働で生活サポート

地域住民の安心・安全な暮らしの実現を目的に、これまで29市町村(山梨県25・長野県4)・2社協(山梨2)との見守り事業に関する協定を締結いたしました。地域住民の異変や何らかの支援を必要としている方を発見した場合に関係機関と連携をはかります。



スポーツ

スポーツの力で地域を元気にしよう!という想いで、ヴァンフォーレ甲府の存続の危機(2001年)から応援を続けてきました。今年で「ヴァンフォーレスポーツお絵かきコンテスト」は23回目を迎えます。



災害ボランティア

能登半島地震、その後の豪雨災害の被災地支援にも継続して取り組み、2024年度には、職員6名が被災地でのボランティア作業や現地生協(コープいしかわ)の業務支援を行いました。引き続き、被災者支援活動を継続していきます。

02-2 子育て応援



はじめてばこプロジェクト

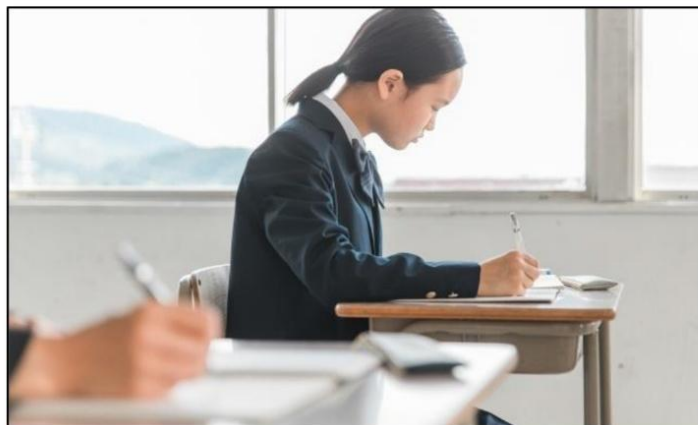
山梨に生まれてきてくれた赤ちゃんに「おめでとう」「ありがとう」の想いを込めた『はじめてばこ』の活動を通し、必要な情報発信と応援（見守り）の取り組みは5年目となりました。山梨に生まれてきてくれた赤ちゃんのご家族の素敵な未来を願って。



はじめてのスプーンセット

笑顔いっぱいの赤ちゃん。たくさんの「はじめての経験」が始まります。離乳食に使うスプーンもそのひとつ。赤ちゃんの「はじめて」を応援するため、長野県内では、木製のスプーンとフォークをセットにし、それぞれに赤ちゃんの名前を入れてお届けしています。

02-3 奨学金・共済



パルシステム給付型奨学金

家庭環境や経済的な理由で大学への進学や就学の継続が困難になっている若者を対象に、この制度が始まりました。単なる奨学金給付に留まらない伴走支援団体による「伴走支援」が特徴です。



CO・OP共済

組合員のくらしを保障の分野でサポートする仕組みとして、パルシステム共済連合会、日本コープ共済連合会を引受団体として、CO・OP共済を取り扱っています。ケガや病気、災害など組合員のくらしの「もしも」を保障する生協の共済です。

03 組織・事業概要

名称 生活協同組合パルシステム山梨 長野

本部所在地 山梨県甲府市古上条町225-1

理事長 古家 滋子

専務理事 小澤 浩二

組合員数 59,836人

供給高 7,956,923千円

出資金 2,657,699千円

職員数 正規職員58人／定時職員103人

理念 「愛・夢・輝き」

ビジョン 「かかわる つながる ささえあう」

1962年 「山梨県労働者生活協同組合」設立

1965年 「山梨県郡内労働者生活協同組合」設立

1992年 上記2つの生活協同組合が合併し、
「生活協同組合コープやまなし」設立

2009年 「生活協同組合パルシステム山梨」に名称変更

2023年 「生活協同組合パルシステム山梨 長野」に名称変更

※数値は2025年3月末現在

本部



甲斐センター



西桂センター



一宮センター



諏訪センター



フェアトレードショップぱるはぴ





もっといい明日へ
超えてく

生活協同組合パルシステム山梨 長野

本部 〒400-0051 山梨県甲府市古上条町 225-1

TEL 055-243-6327 FAX 055-243-6359

SDGsに関するwebサイトは、
こちらよりご覧いただけます。

https://www.palsystem-yamanashi.coop/blog/post_lpage/sdgs_top/



- ・ご覧いただくには通信費がかかります。
- ・一部のスマートフォン端末、携帯電話で、読み取れない場合がございます。